

＝ このセットでは、4つのバリエーションのマカロンがお作りいただけます ＝

- ① うすいピンク／チューブ3cm分の粘土に、カラー粘土7mm玉1個を混ぜる
- ② 濃いピンク／チューブ3cm分の粘土に、カラー粘土7mm玉3個を混ぜる
- ③ 白にピンクのクリーム／着色していない粘土で皮を作り、うすいピンクのクリームをはさむ
- ④ マーブル／着色していない粘土と濃いピンクに着色した粘土を混ぜ、皮を作る（下記参照）



着色していない粘土と、濃いピンクに着色した粘土を用意します
ロープ状にした、両方の粘土をねじります。



粘土を折りたたんだり、のぼしたりしながら、混ぜていきます。



適当なところで混ぜるのをやめ、まるめます。

● 粘土の保存について



- ※ 残った粘土は、チューブ内に空気が入らないようにして、チューブの先端をクリップ等でとめて保存して下さい。
- ※ 着色した後の粘土は、二重にラップで包んだ後、チャック付きビニール袋に入れて保存して下さい。

＝ 関口真優の **かんたん! Cute!** スイーツ書籍のご案内＝

● 粘土でつくるスイーツの基礎が身に付く完全レシピ

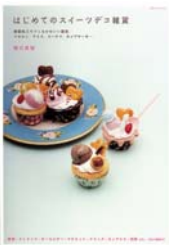


かんたん!
粘土スイーツ
ベーシック編 (20頁)
関口真優 著
定価: 504円 (税込)



かんたん!
粘土スイーツ
アレンジ編 (20頁)
関口真優 著
定価: 504円 (税込)

● Cuteな作品づくりのヒントがいっぱい



はじめての
スイーツデコ雑貨
B5 93頁
関口真優 著
定価: 1575円 (税込)



Cute! な
スイーツデコ雑貨
B5 104頁
関口真優 著
定価: 1575円 (税込)

○ 本紙の一部、または全部を無断で複製、送信等することは著作権者および発行者の権利侵害となります。あらかじめ弊社まで許諾をお求め下さい。

発売元 日清アソシエイツ株式会社 東京都中央区日本橋小網町 19-12
TEL 03-5641-8165 / FAX 03-5641-8836
http://nisshin-nendo.hobby.life.co.jp

かんたん! 粘土スイーツ

粘土でつくるマカロンストラップセット

4つのバリエーションが楽しめる!



関口真優 プロデュース

「かんたん! 粘土スイーツ ベーシック編」
「かんたん! 粘土スイーツ アレンジ編」
「はじめてのスイーツデコ雑貨」
「Cute! なスイーツデコ雑貨」 著者

1. セット内容



① 樹脂風軽量粘土
(グレイス軽量タイプ)



② カラー粘土
(グレイスカラー)



③ 抜き型



④ アクセサリーパーツ

- ・ストラップ金具: 1
- ・丸カン (1.0×5mm): 1
- ・9ピン (0.7×15mm): 1
- ・スワロフスキー (#2028/

SS16): 2

※ 練習用、及び失敗した際に備えて、粘土は多めに入っています。
※ アクセサリーパーツは1セットのみ入っています。

2. お客様にご用意いただきたいもの

① 平らでかたい、板状のもの



粘土をプレスするのに使います
例: ランチボックスのふた、
幅広の定規等

② フリーザーバッグ



点線のように切って使います



③ 定規

④ クリアファイル (この上で作業をします)

⑤ 接着剤 (金属の接着が可能なもの)



セメダイン社
スーパーX、
スーパーX2、
スーパーXG など

⑥ 竹串、またはつまようじ



⑦ やっとこ、またはラジオペンチ



⑧ ピンセット



＝ 作り方 (色: うすいピンク) ＝

● 粘土がよごれないよう、粘土を扱う前に、まず手をきれいにしておきましょう。



1 粘土の入ったチューブの端を切る。



2 チューブ約3cm分の粘土を取り出す。



3 粘土をよくこねる。粘土がベタつくようなら、板状にのばして5分程度おいておくとよい。



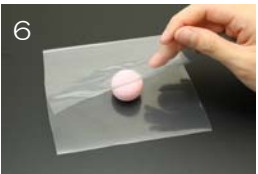
4 直径7mm玉のカラー粘土を1個混ぜる。



5 色が均一に混ざったら、一部を取り、25mm玉を1個作る。残りの粘土はラップで包んでおく。



↑
粘土のサイズを測るのに
お使い下さい



6 25mm玉を、切り取ったフリーザーバッグにはさむ。



7 平らな板状のもので直径45mm程度にプレスする。



8 円板状になった粘土に抜き型をあてる(最後まで抜き切らない)。



9 円の形がくずれないように、抜き型をそっとはずす。



10 周りの余分な粘土をちぎりながら、手でそっとはずす。



11 円の縁がなだらかになるように、指先で形を整える。



12 ちぎりが残った粘土を竹串で寄せ集めながら、ピエ部を作る。



13 6~12を繰り返し、同じものをもう1枚作った後、1~2日間乾燥させる。

※ 中学生未満の方には、8~12の工程が難しい場合もあります。その場合には、以下A, Bのように作ることもできます。



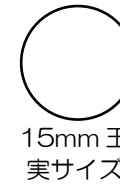
抜き型で、粘土を最後まで抜ききる。円の縁がなだらかになるように、指先で形を整える。



縁部分を竹串でひっかくようにして、ピエ部を作る。



14 着色していない粘土の15mm玉を作る。フリーザーバッグにはさみ、直径30mm弱にプレスする



15 プレスした円板状の粘土を皮の上に乗せ、皮の大きさと同じくらいに整える。



16 もう1枚の皮をかぶせ、上下から抑押さえる。※クリームがみださない程度



17 9ピンに接着剤をつける。



18 接着剤をつけた9ピンをクリームにさし込み、乾燥させる。



19 上皮に接着剤を竹串で少量つける。接着剤の上にラインストーンを飾り、乾燥させる。



20 やっとこ、またはラジオペンチで丸カンを開く。※丸カンは前後にひらいて下さい



21 9ピンとストラップ金具を丸カンで連結し、20の逆に閉じて完成。



※ 作品にニス塗ると、よごれが付きにくくなり、水にも強くなります。ニス塗る場合には、ニス塗った後にラインストーンを貼るようにします。

※ 9ピンが抜けてしまった場合には、再度接着剤で取り付けます。